

※※ 2009年7月改訂（第5版、販売名変更に伴う改訂）
 ※ 2007年3月改訂

貯 法：湿気を避けて
 室温保存

使用期限：外箱に表示

注 意：「取扱い上の注意」の項参照

内服痔疾患治療剤
 ※※
 ※
サーカネッテン® 配合錠
 ※※
 ※※
 ※※
 Circanetten Tablets

日本標準商品分類番号

8 7 2 5 5 9

承認番号	22100AMX01743000
薬価収載	2009年9月
販売開始	1965年8月
再評価結果	1983年4月

組成・性状

1. 組成




本剤は、1錠中に下記成分を含有する。

パラフレボン	200mg
センナ末	15mg
イオウ	15mg
酒石酸水素カリウム	15mg

添加物としてゼラチン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム、カルメロース、精製白糖、沈降炭酸カルシウム、タルク、アラビアゴム末、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、ポリオキシエチレン（160）ポリオキシプロピレン（30）グリコール、サラシミツロウ、カルナウバロウ、薬用炭、黄色三二酸化鉄、黄色5号、青色2号を含有する。

2. 製剤の性状

本剤は黒色の糖衣錠である。

表	裏	側面	直径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (mg)
			9.9	5.9	403

効能・効果

痔核の症状（出血、疼痛、腫脹、痒感）の緩解

用法・用量

通常成人1回2錠を1日3回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

使用上の注意

1. 副作用

調査対象1,798例中副作用が発現した症例は45例（2.5%）で、下痢、胃部不快感、食欲不振、悪心等の消化器症状（2.3%）がほとんどであった。（再評価結果時：副作用について記載のない報告は集計から除外）

種類	頻度
	0.1～1%未満
皮膚*	発疹等
消化器	悪心、食欲不振、下痢、腹痛、胃部不快感等

*投与を中止すること。

2. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

3. 適用上の注意

薬剤交付時：

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。

〔PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。〕

臨床成績

104医療機関における二重盲検比較試験を含む臨床試験では、痔核に対して80%（1,444/1,806）の有効率を示した。また、パラフレボン及びプラセボ¹⁾並びに本剤に配合されている三種の緩下剤²⁾を対照薬とした二重盲検比較試験により、痔核に対する本剤の配合意義と有用性が認められている。

薬効薬理

1. 肛門部炎症の消炎作用

サーカネッテン配合錠は角棒で惹起した肛門部炎症に対して明らかな消炎効果を示す（ラット³⁾）。

パラフレボンは単独投与により熱刺激による肛門部炎症（熱傷痔）を有意に抑制するが、センナ末、イオウ、酒石酸水素カリウムの併用は作用を増強する（ラット⁴⁾）。

2. 抗炎症作用

パラフレボンは卵白アルブミン又はデキストランによる足趾浮腫に対して抗炎症作用を示す（ラット⁵⁾）。

3. 毛細血管透過性の抑制作用

パラフレボンはクロロホルムにより亢進した毛細血管の透過性を抑制する（ラット⁶⁾）。

4. 静脈瘤内血液の凝固促進作用

サーカネッテン配合錠は正常血液に影響することなく静脈瘤内のうっ滞した血液の凝固時間を短縮する（ヒト⁷⁾）。

有効成分に関する理化学的知見

1. パラフレボンは各種含硫黄高分子のポリペプチド混合物であり、茶褐色～帯黒褐色の粉末で、特異なおいがある。ジエチルエーテルにほとんど溶けず、水又はエタノール（95）に溶けない。
一般名：パラフレボン (Paraphlebon)
2. センナ末は淡黄色～淡灰黄緑色の粉末で、特異なおいがあり、味は苦い。
局方名：センナ末 (Sennae folium pulveratum)
3. イオウは淡黄色～黄色の粉末で、におい及び味はない。
二硫化炭素に溶けやすく、水、エタノール（95）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
局方名：イオウ (Sulfur)
4. 酒石酸水素カリウムは無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、清涼な酸味を有する。水に溶けにくく、エタノール（95）にきわめて溶けにくい。

取扱い上の注意

本剤は湿気により、錠剤表面の艶が消失し白色を帯びたようになることがありますので、開封後は密栓するなど湿気を避けて保存してください。

包 装

サーカネッテン配合錠：PTP 100錠、500錠、1000錠
バラ 500錠

主要文献

- 1) 井口 潔ほか：臨牀と研究，54(2)，556(1977)
- 2) 里村紀作ほか：日外宝，44(5)，436(1975)
- 3) 田村豊幸ほか：日薬理誌，65，68§(1969)
- 4) 藤沢 広ほか：Paraphlebonの実験的痔形成抑制作用及び
Circanetten含有下剤成分との併用効果について
(日本新薬社内資料)
- 5) Paraphlebonの消炎作用について (日本新薬社内資料)
- 6) Paraphlebonの毛細血管透過性に及ぼす影響 (日本新薬社内資料)
- 7) 神谷喜作：診療と新薬，2(10)，1169(1965)

文献請求先

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

日本新薬株式会社 学術部 医薬情報課 くすり相談担当
☎601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14
フリーダイヤル 0120-321-372
TEL 075-321-9064
FAX 075-321-9061

製造販売元

 **日本新薬株式会社**

京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

Pharmazeutische Fabrik Evers & Co. GmbH.
Hamburg-Pinneberg, F. R. Germany